

(別紙4(2))

事業所名 グループホームにこやか

## 目標達成計画

作成日: 平成 30 年 4 月 9 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念をスタッフ室に掲示・ミーティングにて理念の朗読を行っているが、職員間の理念を共有する取り組みを継続していき実践に繋げる。	全職員が理念を認識し、個々に添った支援ができるようにする。	ミーティングにおいて職員間で理念について話し合い、個々にあった支援を検討し実践する。	12ヶ月
2	10	ホームの行事に家族の参加がえられていない現状が続いている。	行事に家族の参加が得られる。	・ご家族来所時、運営推進会議で行事に関する案内の声かけをする。 ・家族が参加したいと思われる行事内容の意見を聞き取りを行う。 ・運営推進会議に参加されないご家族にも資料を配布し行事内容の具体的なイメージと参加意欲がでる働きかけをする。	12ヶ月
3	26	介護目標に対してどのように実践したかの記録ができていない為、定期的な介護計画の見直しが行われていない。	日々行っている支援実践の記録に追加してその様子が分かるような具体的な記録をする事で定期的な介護計画見直しに繋げる。	・ミーティングにおいて目標実践に対する記録の方法について確認する。	12ヶ月
4	49	外出困難者もいる中で外気浴などの対応	一人一人に合った1日1回の居室の窓を開けてゆっくりと過ごす時間を設ける。	・1日の内で、ゆっくりと過ごされている時間を利用し居室でも出来る外気との触れ合いやその季節感を体感して頂くような、対応を行う。	2ヶ月
5	35	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いていく。	・職員間の災害に対する意識を高め、落ち着いた行動で利用者の安全を守る。 ・地域の方との協力体制を築く。	・年2回の避難訓練実践を行い、災害時の対応について職員の理解を深める。 ・災害時用の避難グッズ等備品管理チェックを定期的に行う。 ・運営推進会議などで地域の方の協力を願う。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。